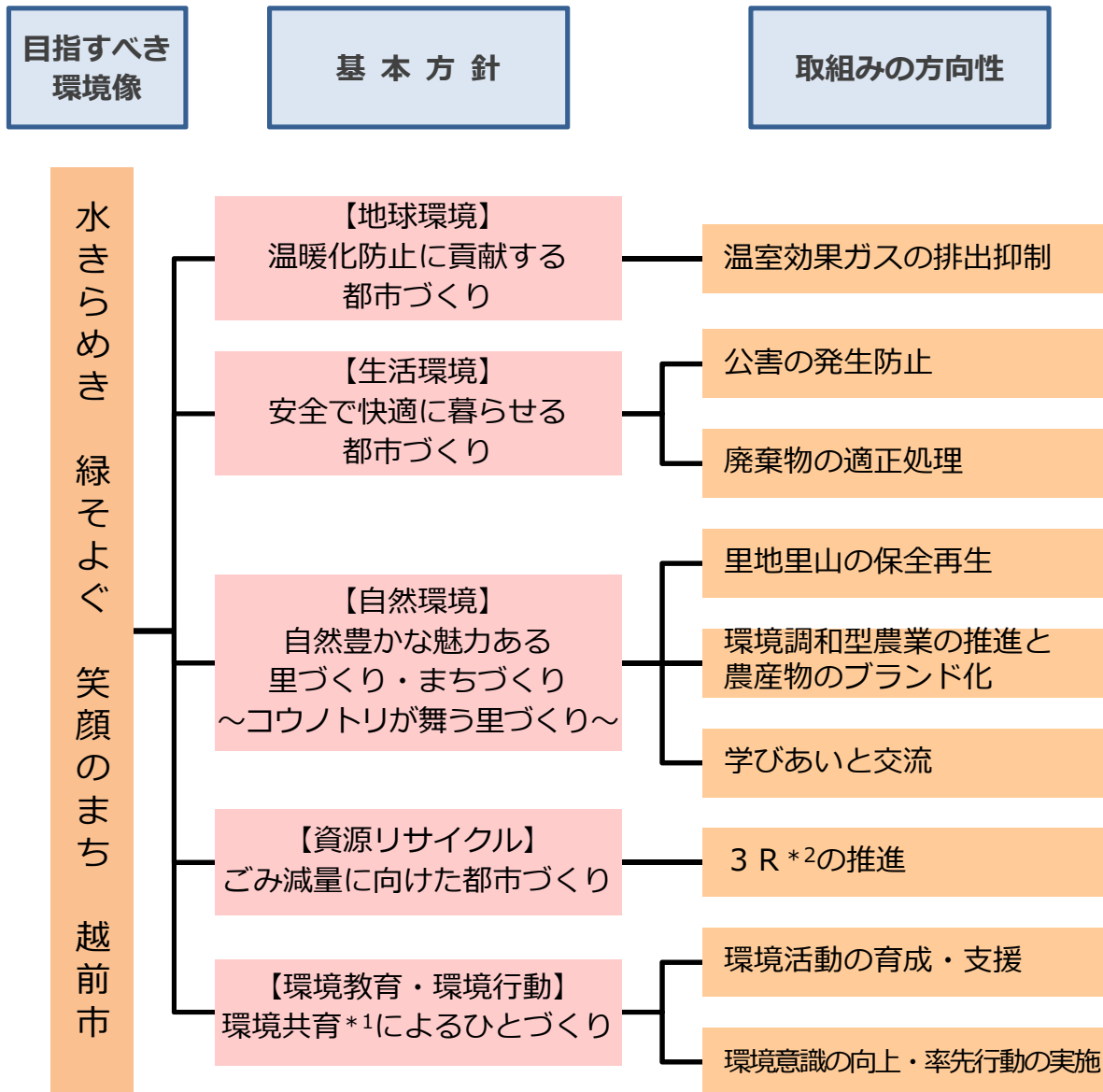


第1章 越前市環境基本計画の推進

1 計画の体系

越前市の目指すべき環境像を実現するための計画の柱となる5つの基本方針と、それぞれの分野における取組の枠組みを示します。



*1: 「共育」とは様々な主体が対等な立場で学びあい、共に育みあうことを意味します。

*2: 「3R」とは廃棄物処理やリサイクルを推進する上での優先順位のこと。

①リデュース（排出抑制）②リユース（再使用）③リサイクル（再生利用）の頭文字

2 環境基本計画の進捗管理

越前市環境基本計画では、平成 29 年度から令和 3 年度（平成 33 年度）の 5 年間に於いて具体的な指標を定めており、最終年度である令和 3 年度（平成 33 年度）を目標年とし、目標値を定めています。

平成 30 年度の達成状況を次表に示します。

<< 平成 30 年度具体的な指標の達成状況 >>

I 温暖化防止に貢献する都市づくり

I-1 温室効果ガスの抑制

No.	指標名	単位	目標値 (目標年)	H30 実績	説明
1	市施設におけるエネルギー消費原単位削減率（学校・公民館等を除く）	%	94 (R3)	100	2015 年度を基準として毎年 1%の削減を目指します。
2	太陽光発電設備導入件数（累計）	件数	1,500 (R3)	1,375	市内で一定の普及を目指します。
3	電気自動車*補助件数（累計）	台	65 (H30)*	77	市内で一定の普及を目指します。

※その後は、国の取組状況や最新技術等を考慮して、見直しを検討します。

II 安全で快適に暮らせる都市づくり

II-1 公害の発生防止

No.	指標名	単位	目標値 (目標年)	H30 実績	説明
4	汚水処理人口普及率	%	97.0 (R3)	93.1	2023 年度の目標値 100%を目指します。
5	市内主要河川水質調査の環境基準値達成率	生活環境項目 健康項目 %	100 100 (R3)	97.3 100	各調査地点において、環境基準の達成を目指します。
6	汚染（有機溶剤）区域内地下水質の環境基準達成率	%	100 (R3)	84.2	全ての定期モニタリング*井戸において、環境基準の達成を目指します。

Ⅲ 自然豊かな魅力ある里づくり・まちづくり

Ⅲ-1 里地里山の保全再生

No.	指標名	単位	目標値 (目標年)	H30 実績	説明
7	森林の年間整備面積	ha/年	60.0 (H30) ^{※1}	38.4	年間 60ha 以上の整備面積を目指します。
8	里山の森林づくりボランティア参加人数	人/年	375 (H30) ^{※1}	330	2018 年度までに H27 の 341 人から 10% 増を目指します。
9	水田魚道の施設数	箇所	22 (R1) ^{※2}	20	「コウノトリが舞う里づくり第 2 次実施計画」に沿って取り組みます。
10	休耕田ビオトープの面積	ha	8.0 (R1) ^{※2}	6.3	「コウノトリが舞う里づくり第 2 次実施計画」に沿って取り組みます。

※ 1 「越前市総合計画実践プログラム」に合わせて見直します。

※ 2 「コウノトリが舞う里づくり戦略」に合わせて見直します。

Ⅲ-2 環境調和型農業の推進と農産物のブランド化

No.	指標名	単位	目標値 (目標年)	H30 実績	説明
11	特別栽培米の作付面積	ha	550 (R1) [※]	541	「コウノトリが舞う里づくり第 2 次実施計画」に沿って取り組みます。

※ 「コウノトリが舞う里づくり戦略」に合わせて見直します。

Ⅳ ごみ減量化に向けた都市づくり

Ⅳ-1 3Rの推進

No.	指標名	単位	目標値 (目標年)	H30 実績	説明
12	家庭系ごみ排出量 (市民 1 人 1 日当たりのごみ排出量)	g/人・日	552 (R2) [※]	549	「一般廃棄物処理基本計画」に基づき設定します。
13	家庭系ごみ排出量 (県下 9 市の家庭系ごみ排出量の順位)	順位	1 (R3)	1	県下 9 市で家庭系ごみの最少排出量を目指します。
14	ごみのリサイクル率(県下 9 市のごみのリサイクル率の順位)	順位	1 (R3)	2	リサイクル率の 1 位を目指します。

15	市発注工事 再生資材 利用率	土砂 砕石 アスファルト混合物	%	80.0 以上 95.0 以上 100 (R3)	72.2 100 96.9	本市発注の工事で発生した土砂や砕石などの再利用に取り組みます。
16	古紙の集団回収実施団体数		団体	163 (R3)	158	現状維持を目指します。
17	下水汚泥の資源化率		%	100 (R3)	100	第1次計画の目標値を採用し、継続して取り組みます。

※南越清掃組合の「一般廃棄物処理基本計画」に合わせて見直します。

V 環境教育によるひとづくり

V-1 環境活動の育成・支援

No.	指標名	単位	目標値 (目標年)	H30 実績	説明
18	公民館、地区が開催する環境学習会	回/年	255 (R3)	184	各地区平均 15 回以上開催します (15 回×17 地区)。
19	同 参加者数	人/年	7,650 (R3)	5,137	環境学習会 1 回当たりの参加者を 30 人程度とします (30 人×255 回)。
20	ごみ減量化リサイクル推進員町内普及率	%	100 (R3)	95.4	全町内での活動を目指します。
21	ごみ減量化リサイクル推進員 (各年度認定者の累計)	人	2,300 (R3)	1,953	年間 100 人の認定を目指します。
22	環境教育提供総時間数 (小学生)	時間	27.2 (R3)	27.2	基準年の成果を維持します。
23	環境教育提供総時間数 (中学生)	時間	20.9 (R3)	20.9	基準年の成果を維持します。
24	環境学習 (幼稚園・保育園・こども園)	%	100 (R3)	100	全園での開催を目指します。
25	エコビレッジ交流センターを活用した環境学習会参加人数	人/年	3,500 (R3)	3,225	環境学習会参加者を毎月 300 人程度とします。(約 300 人/月×12 ヶ月)